

大東市ゼロカーボンシティ宣言文

大東市は、多くの河川や水路、飯盛・生駒の緑豊かな自然環境に恵まれ、人情深い河内の風土のもと、野崎まいりやだんじり祭りなどの伝統文化が大切に育まれながら、活気あふれる都市の街並みが続くまちへと発展してきました。

近年、地球温暖化に関する意識が世界的に高まり、2015年にはパリ協定が合意され、日本においても、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする「カーボンニュートラル」の取組みが全国的に進んでいます。急激な温暖化は海面の上昇など自然環境に様々な影響を与え、その自然環境の変化は私たちの暮らしに大きく関わります。

本市においても緑豊かな自然環境に恵まれた大東市を次世代の人々に継承するため、SDGsの理念のもと「地球温暖化対策実行計画」を策定し、市自らが率先して温室効果ガスの削減に最大限に取組み、2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指すことをここに宣言します。

大東市長 東坂 浩一